

<慶長遣欧使節と日本、仙台の動き>

1582年 (天正10)

- 2月 ●天正遣欧使節、ローマを目指して出発 1590年 (天正18)
- 7月 ●天正遣欧使節帰国 1600年 (慶長5)
- 10月 ●関ヶ原合戦で東軍勝利

1601年 (慶長6)

- 1月 ●仙台城縄張り始め
 - 伊達政宗、地名を「千代」から「仙台」と改める（「仙台開府」）
このころまでに支倉常長、伊達政宗の使番となる

1602年 (慶長7)

- 10月～11月 ●徳川家康、フィリピン総督にキリスト教の布教厳禁を通告

1610年 (慶長15)

- 8月 ●徳川幕府が建造した黒船、フィリピン前総督ロドリゴ、京都の商人らに乗せて浦賀を出港
- 10月 ●カリフォルニアに到着

1611年 (慶長16)

- 6月 ●メキシコの答礼大使セバスチャン・ビスカイノ、太平洋を渡り来日
 - 伊達政宗、江戸でセバスチャン・ビスカイノと会う
- 10月 ●ビスカイノ、幕府の許可を得て、東北へ
- 11月 ●伊達政宗、仙台でビスカイノと同行したルイス・ソテロを歓待。政宗、フィリピンやメキシコの船の来航を歓迎し、スペイン国王との親交と、ヌエバ・エスパーニャ副王との通信を希望する
- 12月 ●仙台藩領内で大地震。津波が太平洋岸を襲う（陸奥慶長地震・津波）
ビスカイノ、政宗が造船、メキシコ通商を望む話を仙台藩重臣から聞く

1612年 (慶長17)

- 9月 ●江戸幕府最初のキリスト教禁止令

1613年 (慶長18)

- 3月 ●伊達政宗、幕府船奉行向井将監に対して船大工ら派遣の礼状を書く
- 5月 ●伊達政宗、ソテロに遣欧使節の派遣準備が大体整ったことを報せる

- 7月 ●江戸幕府は、江戸でキリシタン 22 名を処刑、ソテロも捕縛
- 8月 ●伊達政宗、幕府に働きかけてソテロを救う
- 9月 ●助けられたソテロ、江戸から仙台へ
- 10月 ●伊達政宗、スペイン国王、ローマ教皇あて書状を書く
 - 伊達政宗、向井将監から書状と帆船のお守り札を受け取る
 - 支倉常長ら使節団、サン・フアン・パウティスタ号で月浦を出港

1614年 (慶長 19)

- 1月 ●パウティスタ号、メキシコ太平洋岸アカプルコ入港
- 2月 ●徳川家康、キリスト教禁令の態度を固める
- 3月 ●支倉常長ら、メキシコ市入り
- 6月 ●支倉常長ら、スペイン艦隊の船でベラクルスを出港
- 7月 ●支倉常長ら、キューバのハバナに着く
- 8月 ●支倉常長ら、ハバナを出港
- 10月 ●支倉常長ら、スペイン南部のサンルカール・デ・バラメダに入港
 - 支倉常長、セビリア臨時市議会で使命を述べる
- 12月 ●支倉常長ら、マドリードに入る

1615年 (慶長 20)

- 1月 ●大坂冬の陣の和議が成立
 - 支倉常長ら、スペイン国王フェリーペ 3 世に謁見
- 2月 ●支倉常長、王立フランシスコ会跣足派女子修道院の付属教会で洗礼を受ける (洗礼名はフィリッポ・フランシスコ・ファシクラ)
- 4月 ●メキシコ残留組、パウティスタ号でアカプルコを出港
- 6月 ●大坂夏の陣で大坂落城
- 8月 ●パウティスタ号、浦賀に帰着
 - 支倉常長ら、マドリッドを出発

1615年 (元和元)

- 10月 ●支倉常長ら、ローマ到着。入市式を行う
- 11月 ●支倉常長、ソテロら、ローマ教皇パウロ 5 世に謁見。支倉常長ら、ローマ市公民権証書を授与される

1616年 (元和 2)

- 1月 ●支倉常長ら、ローマを出発。再びスペインへ
- 6月 ●徳川家康死去 (75 歳)

- 7月 ●スペイン国王フェリーペ3世、伊達政宗あて返書を書く
9月 ●仙台藩士横沢将監、支倉常長らを迎えにバウティスタ号で出港

1617年 (元和3)

- 4月 ●支倉常長、セビリアからフェリーペ3世に宛て通商許可を願う書状を出す

1618年 (元和4)

- 8月 ●(メキシコまで戻り、迎えのバウティスタ号でアカプルコを出港した)支倉常長、ソテロら、フィリピンのマニラに着く
●支倉常長、マニラから息子勘三郎に手紙を書く

1619年 (元和5)

- 10月 ●京都で、約60人のキリスト教信者が火あぶりにされ、殉教

1620年 (元和6)

- 8月 ●支倉常長ら、ソテロをマニラに残し、便船で帰朝(バウティスタ号は買収されフィリピンでスペイン艦隊に編入)
9月 ●仙台藩内にキリスト教禁令の制札
10月 ●伊達政宗、ソテロの扱いについて幕府に指示を仰ぐ

1621年 (元和7)

- 支倉常長死去(52歳)

1622年 (元和8)

- 9月 ●ソテロ、マニラから薩摩に潜入しようとして捕まる

1623年 (元和9)

- 5月 ●ローマ教皇グレゴリオ15世、伊達政宗に宛てた書状が作成され、政宗が洗礼を受け、キリスト教を保護するよう記される

1624年 (寛永元)

- 8月 ●ソテロ火あぶりにされ死去(51歳)

1636年 (寛永13)

- 6月 ●伊達政宗死去(70歳)

1641年(寛永18)

6月 ●幕府がオランダ人を長崎の出島に移住させる。鎖国が完成

1873年(明治4)

5月 ●岩倉使節団、イタリアのヴェネツィアで支倉常長の書状を発見する

1993年(平成5)

5月 ●復元船「サン・ファン・パウティスタ号」進水式

1996年(平成8)

8月 ●宮城県慶長遣欧使節船ミュージアム(通称サン・ファン館)開館

2001年(平成13)

6月 ●「慶長遣欧使節関係資料」(仙台市博物館所蔵)が国宝に指定

2011年(平成23)

3月 ●東日本大震災発生

2013年(平成25)

慶長遣欧使節出帆400年記念事業開始

6月 ●日本スペイン交流400周年を記念して、両国で交流年記念事業を開催
(~2014年7月)

●国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「ローマ市民権証書」「支倉常長像」「ローマ教皇パウロ五世像」の3点がユネスコ(国連教育科学文化機関)記憶遺産に登録

※参考:『遙かなるロマン—支倉常長の闘い』(河北新報社/1993)、『仙台市史 特別編 8 慶長遣欧使節』(仙台市/2010)、宮城県慶長遣欧使節船ミュージアム・ウェブサイト